

滋賀県平和祈念館 第31回企画展示

語りつぐ 平和へのねがい
SHIGA PEACE MUSEUM

戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅱ

－レイテ島・ミンダナオ島などの島々－



写真上：戦場から持ち帰ったレイテ島とミンダナオ島の山々
写真下：レイテ島で企画された伊勢湾岸地震被災者慰問団の行進（イグロウズにて）
出典：長井 謙一 撮影

令和4年(2022年)

6月18日土 — 12月18日日

開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 月・火曜日(7月20日～8月28日は無休、祝日にあたる場合は開館)

駐車場 / 約50台(無料)

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期・開館行事の内容について、変更もしくは中止する場合がございます。
最新の情報はこちらホームページにてご確認くださいませようお願いいたします。

入館無料

滋賀県平和祈念館

〒527-0157 滋賀県栗東市下中野町431番地
TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350
E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp



詳しくはホームページをご覧ください。

しがけんバーチャル平和祈念館 検索

滋賀県平和祈念館 第31回企画展示

戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅱ

－レイテ島・ミンダナオ島などの島々－

昭和16年(1941年)12月8日の日本軍による真珠湾攻撃と英領マレーへの侵攻によって始まったアジア・太平洋戦争は、日本の壊滅的な敗戦に終わり、日本全体で軍民約300万人が犠牲となりました。開戦当日の日本軍による空爆に始まり、戦争の期間を通して戦火が収まることのないフィリピンでは、およそ518,000人の日本軍兵士・軍属が亡くなりました。滋賀県民の戦死者も8,843名に及びます。これは、満洲事変からアジア・太平洋戦争の終戦まで、約15年間の滋賀県戦死者32,592名の3割近くに達します。最も多くの滋賀県出身者が犠牲となった戦場、それがフィリピンです。

自然豊かな7,000以上の島からなるフィリピンでは、昨年度に紹介したルソン島だけでなく、レイテ島やミンダナオ島など、数多くの島々で滋賀県にゆかりのある人びとが凄惨な戦争を体験しました。

今回の展示では、フィリピン奪還のためにレイテ島へ再上陸してきた米軍の圧倒的な攻撃を受け、部隊が壊滅した後も捕縛もないジャングルで最期まで戦うことを命じられた滋賀県出身の兵士たち、米軍の掃討作戦によって密林へ追い込まれ、飢えや感染症で苦しんだ兵士たち、ミンダナオ島で農場を営み、現地の人たちと仲良く暮らしていた在留邦人の家族を襲った戦争の悲劇、この地で亡くなった親しい家族・知人への怒意や遺骨収集に参加した人たちの想いなど、フィリピン各地で滋賀県の人びとが体験した戦争の記憶を関係者の体験談やモノ資料などで紹介します。



戦場から届いた手紙
(大村 健一さん 提供)

レイテ島から届いた手紙
(大村 健一さん 提供)

反上する手紙
(田村 英江さん 提供)

戦時中のレイテ島
(大村 健一さん 提供)

関連行事

学芸員による企画展示説明会
令和4年6月26日(日) 13:30～ ※事前申込制

平和祈念館からのお願い

■ 体験談の聞き取り調査・資料寄贈にご協力ください
滋賀県平和祈念館では、国内外で戦争を体験された方からの体験談を募集しております。関係者がうかがってお話しを記録します。対象は現在、兵庫県にお住まいの方。または滋賀県に関係して戦争・戦時中の生活を体験した方です。

■ ボランティアの募集
滋賀県平和祈念館では、戦争の記憶や平和の尊さを伝える活動のボランティアを募集しています。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください
TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350
E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp



■ 伊勢湾岸線(東山線)彦根駅または近江八幡駅より徒歩
近江線(八日町線)からバスで約20分(栗東駅-滋賀県立大学下車すぐ)
■ 名神高速道路(八日町IC)から徒歩約10分(駐車場 / 約50台(無料))